

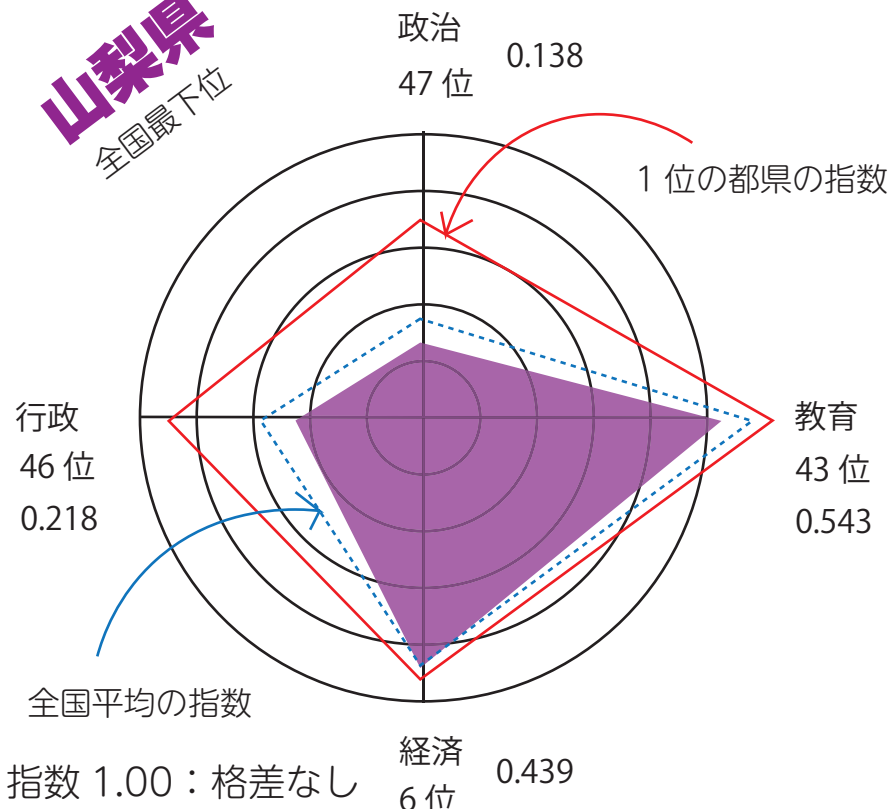
だれもがどれも選べる社会に



令和6年度男女共同参画週間
キャッチフレーズ

ジェンダーギャップ指数

山梨県
全国最下位



地域からジェンダー平等研究会

山梨県の強みと課題

共働き家庭の家事・育児時間の男女差が全国で2番目に小さく、女性社長が多いことなどから経済分野は6位となりました。一方で政治分野は47位。県議会に女性は2人だけで、女性の市町村議が少なく、女性ゼロ議会も高い割合となっています。教育分野では、四年制大学進学率の男女差が全国最大ですが、これは男性の進学率が突出して高く、全国1位となっているためです。高校の女性校長の多さは強みです。

政治の分野での遅れが目立つ山梨県です。地域から女性の社会参加を進めてみませんか。

まだまだ重い妻の家事負担

6歳未満の子どもを持つ 夫・妻の家事関連時間 週全体平均

2016年
妻 7時間 34分
夫 1時間 23分

2021年
妻 7時間 28分
夫 1時間 54分

令和3年生活基本調査（総務省統計局）

参考 アメリカ” American Time Use Survey”

2021年
妻 6時間 4分
夫 3時間 37分

地区役員女性の割合

上野原市

区長 1人 / 111人 (0.90%)
副区長 8人 / 142人 (5.63%)
合計 9人 / 253人 (3.56%)



**女性も、
もっと社会へ!**

**男性も、
もっと家事を!**

